

「案件成功対策研修」のお勧め

2018年1月 システム企画研修株式会社

背景 この研修は、厚生労働省主催第1回「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」において最優秀賞を受賞されたSCSK殿で、9年間に亘って実施させていただいた研修がベースになっています。



情報システム開発の失敗による赤字案件の発生は、2000年代前半に大量発生し多くの元請け企業が破たんの危機に瀕しました。

しかし各種の対策を講じてその危機は克服されました。

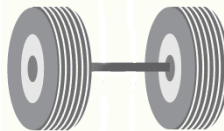
→ ところが最近また各社で大きな赤字案件が発生している情報が届いてきます。

「災害は忘れたころにやってくる」のです。

- ▶ チェックリストがあっても、PMOがチェックしても、マンネリ化すると有効に機能しません。常に注意していないと失敗は起きます。
- ▶ PMOや品質保証部門のチェック・けん制は重要ですが、それに頼れば対策は後手を踏むことになります。
- ▶ まずは、案件当事者の意識がリスクに対して敏感でなければなりません。



当事者の
リスク意識



PMOや
品質保証部門の
チェック・けん制

失敗回避の車の両輪 です。

この研修は、**当事者のリスク意識を高めるため** のものです。

この研修の実施方法の特長は以下のとおりです。

- 1) 受講者に経験された失敗案件を持ち寄っていただきます。
- 2) 対策テンプレート付きの「重大リスク回避チェックリスト」が提供されます。
- 3) 持ち寄った失敗案件の分析によって、既存の「重大リスク回避チェックリスト」を補強していただきます。
 - チェックリストが身近なものとなります。
 - チェックリストの内容が成長していきます。
- 4) あらゆる検討案件における成功を保証する「目的・ねらい」の探求方法を学んでいただきます。

中級実務者の基本研修 に
位置づけられることをお勧めいたします。

ご要望がございましたら
ご説明に伺います。
お申し付けください。



「案件成功対策研修」のお勧め

1. 当研修の目的・ねらい (Why)

(1) 目的

1) 受講者が経験した不成功案件を持ち寄って、それがなぜ発生したかを分析していただきます。

2) その多くの原因は「手抜き」であることを認識していただきます。

3) その分析結果により、既存の「重大リスク回避チェックリスト」を改訂していただきます。

4) あらゆる検討案件で成功を保証する「目的・ねらい」の探求方法を学んでいただきます。

(2) ねらい

- 「重大リスクチェックリスト」「重大リスク対策テンプレート」を活用していただきます。
- それらの活用によって、社員のリスク回避能力を高めていただきます。
- その結果、将来に亘り「手抜き」による重大損害案件の発生を防止することができます。

2. 当研修の内容 (What)

- 次葉「当研修の内容」をご参照ください。

5. 当研修の実施時期 (When)

- 2日間の研修です。
- 2日の間は開けて実施することも可能です。
- 初日の前に宿題をしていただきます。

3. 当研修の対象者殿 (Where)

- 営業の責任者・担当者殿
- 開発の責任者・リーダークラスおよび中堅実務者

6. 当研修の担当講師 (Who)

- 当面は上野則男が担当します。

4. 当研修実施方法 (How)

- 以下の方法で実施します。

宿題

解説

チーム
演習

- 宿題はご自分が過去に経験した不成功案件の整理をしてきていただきます。

不成功 案件	納期・品質・コストのいずれかが目標どおりでなかった案件
-----------	-----------------------------

- 時間割をご参照ください。

7. 当研修の実施料金 (How Much)

- 1回15人までで講師料80万円
- テキスト代：1万円/1人
- いずれも消費税別



「案件成功対策研修」のお勧め

2.当研修の内容 (What)

1 日目	0.オリエンテーション (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 受講者の自己紹介と研修のガイド。
	1.自分が経験した失敗案件分析 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 宿題は「案件の概要」「不成功原因想定ワークシート」を使用する。 ここでは「要件不備原因分析ワークシート」使用
	2.失敗案件のチーム共有と分析補強 (1時間30分)	<ul style="list-style-type: none"> 宿題と検討結果をチームで共有する。
	3.不成功案件の分析 (全員検討) チームから発表・質疑・研究 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 各チームから2案件について発表し全員で意見交換する。 「何が悪いのか、どう対応すべきなのか」
1 ~ 2 日目	4.「目的・ねらい記述書」解説・研究 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 「目的・ねらい」の意義の解説 「目的・ねらい記述書」作成方法の解説
	5.不成功案件の「目的・ねらい記述書」作成演習 出題と演習実施 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 初日 出題と演習 (2時間) 2日目演習1時間、(目的・ねらいの不備がいかに案件の不成功に繋がったかを確認する)
2 日目	6.「目的・ねらい記述書」作成演習 演習結果発表・研究 (1時間30分)	<ul style="list-style-type: none"> チーム演習結果を発表し全員で共有する。
	7.重大リスク発生回避対策の解説 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 「重大リスク回避チェックリスト」「同テンプレート」の解説を行う。
	8.重大リスク発生回避対策の検討 チーム演習 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> 6. の続きのチーム演習。 6. の演習結果も参考にして、対象案件のスタート段階での状況について「重大リスク回避チェックリスト」でチェックする。
	9.重大リスク発生回避対策の検討演習発表・研究 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 該当する重大リスクについて「重大リスク対策テンプレート」を使用して対策案を作成する。 場合によって、「重大リスク回避チェックリスト」「同テンプレート」の補強を行う。
	10.クロージング (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 重大リスク回避の要点を確認する。



システム企画研修(株)

東京都中央区日本橋小伝馬町 16-2
 東事協ビル2階 電話 03-5695-3130
 mind-pc@newspt.co.jp
<http://www.newspt.co.jp/>

「案件成功対策研修」のお勧め

当研修の時間割

1 日目		2 日目	
9:30	0.オリエンテーション (30分)	9:30	5.「目的・ねらい記述書」作成演習 (続き) (1時間)
10:00	1.自分が経験した失敗案件分析 (30分)	10:00	
11:00	2.失敗案件のチーム共有と分析補強 (1時間30分)	11:00	6.「目的・ねらい記述書」作成演習 演習結果発表・研究 (1時間30分)
12:00		12:00	
13:00		13:00	7.重大リスク発生回避対策の解説 (30分)
14:00	3.不成功案件の分析 (全員検討) チームから発表・質疑・研究 (2時間)	14:00	
15:00	4.「目的・ねらい記述書」解説・研究 (1時間)	15:00	8.重大リスク発生回避対策の検討 チーム演習 (3時間)
16:00		16:00	
17:00	5.不成功案件の「目的・ねらい記述書」作成演習 出題と演習実施 (2時間)	17:00	9.重大リスク発生回避対策の検討演習発表・研究 (1時間)
18:00		18:00	10.クロージング (30分)

「案件成功対策研修」のお勧め

案件の概要ワークシート

No.	項目	規模など(プルダウン)	備考
1	システムを利用するお客様の業種		
2	お客様の従業員規模		
3	対象業務		
4	当社の位置づけ		
5	当社の担当工程		
6	当社としての案件規模		
7	当社の担当期間		
8	当社の担当開始時期		
9	当社の参加人数(ピーク時)		
10	あなたの役割		

要件不備問題の概要(どのような要件不備が発生したか。その結果、プロジェクトの納期・コスト・品質はどうなったか)

不成功原因想定ワークシート

5W2H項目	項目名	内容		原因ウェイト 合計100%
Why	目的・ねらい	その案件で実現しようとした「目的・ねらい」が不明確・不適切であった。		
What	内容	その案件で実現しようとした内容(業務面、システム面)が不明確・不適切であった。		
Where	対象範囲	その案件の対象部門・対象者、対象業務、対象システム、等が不明確・不適切であった。		
How	実現方法	その案件のWhat「内容」の実現方法・実現技術に問題があった。		
When	実現スケジュール	納期、実現大日程に問題があった。	営業責任	
			PM責任	
Who	実現体制	利用者側の体制と開発者側の体制に問題があった。		
How Much	実現費用	費用の見積りに問題があった。	営業責任	
			PM責任	
合計				0%

「案件成功対策研修」のお勧め

重大リスク回避チェックリスト				
不備原因	チェック項目	該当 チェック	1次 対策	契約 対策
1.見積り・契約不備	1) 要件定義を含む案件で請負契約を要求されているか？	<input type="checkbox"/>	→	→
	2) 基本設計(外部設計)を含む案件で請負契約を要求されているか？	<input type="checkbox"/>	→	→
		<input type="checkbox"/>	→	→
		<input type="checkbox"/>	→	→
		<input type="checkbox"/>	→	→
		<input type="checkbox"/>	→	→
		<input type="checkbox"/>	→	→
		<input type="checkbox"/>	→	なし
2.目的・ねらい不明確	9) RFPまたは要件定義書における当案件開発の「目的・ねらい」が不明確ではないか？	<input type="checkbox"/>	→	→
3.RFP不備	10) RFPまたは開発要件記述文書(要求仕様書)が存在するか？	<input type="checkbox"/>	→	→
	11) 要求仕様書には、対象システムに関連する業務と部門が明記されているか？	<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
4.要件定義未完了	18) 要件定義が未完了なのに設計工程に入るのではないか？	<input type="checkbox"/>	→	→
5.高難度案件・技術力不足	19) 未経験のアプリケーションではないか？	<input type="checkbox"/>	→	なし
	20) IoT関連業務、IT・ネット活用新ビジネス、BtoCビジネスではないか？	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		
6.意思決定者不備	23) 意思決定者が明確か？	<input type="checkbox"/>	→	→
	24) 意思決定者は関連組織の長(責任者)か？	<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
7.ユーザ参画不備	27) 利用部門が明記された資料があるか？	<input type="checkbox"/>	→	→
	28) 利用部門内にプロジェクトチームができていないか？	<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
8.システム部門または元請けの力不足	32) システム部門または元請けは今回の案件で重要な位置づけ(単なる契約窓口ではない)になっているか？	<input type="checkbox"/>	→	→
		<input type="checkbox"/>	→	
		<input type="checkbox"/>	→	
9.当社要件定義能力不足(業務知識含む)	35) 要件定義の経験豊富でない者、または対象案件特性(アプリケーション面、技術面)の経験がない者がPMを担当することになっていないか？	<input type="checkbox"/>	→	なし
		<input type="checkbox"/>	→	なし